

CONTENTS

▼お知らせ

- ・元 CNCNP 理事の大田弘様が旭日中綬章を受賞
：事務局

CNCP 通信

VOL.133/2025.5.5

■今月の土木■



▼土木に関わる人と活動

▽つなぐ活動

- ・土木を身近に楽しく感じて欲しい～ 防災教育ボードゲーム ドボ・シティ開発のお話 Vol.2 ～
：葭田学

- ・土木コミュ+IP (インフラパートナー) 6
土木学会/土木広報センターの活動：田中努

▼フレンズ

- ・東急建設の都立青山公園生き物観察会の取組
：金内敦

▼事務局通信



【上3つとも】公園生き物観察会の様子

■東急建設の環境社会貢献活動

当社は、生物多様性保全と都市部における生態系ネットワークの評価技術に取り組んでいます。その一環として、基礎データ収集のため都立青山公園での生物調査を実施しました。この調査を通じて、公益財団法人東京都公園協会青山公園サービスセンター(以下、サービスセンター)との連携ができ、2012年度にサービスセンターからの共催依頼を受け、CSR活動の一環として「夏休み！公園生き物観察会」の企画・運営に継続的に携わっています。本稿では、都立青山公園での取組をご紹介します。(金内敦)

▼フレンズコーナーに続く



▼元 CNCP 理事の大田弘様が旭日中綬章を受賞



おめでとうございます！

元 CNCP 理事の大田弘様（元株熊谷組社長）が、令和7年春の叙勲において、建設業振興の功労で、「旭日中綬章」を受賞されました。（4月29日付け発令）



旭日中綬章は、国家または公共に対し功労のある者に対し、功績の内容に着目し、顕著な功績を挙げたものに授与される勲章です。

左の写真が、「旭日中綬章・略綬（左）」で、英語で「The Order of the Rising Sun, Gold Rays with Neck Ribbon」と言います。

詳しくは下記の内閣府の URL 等を参照してください。

- ・内閣府：<https://www8.cao.go.jp/shokun/hatsurei/r07haru.html#jokun>
- ・熊谷組：<https://www.kumagaigumi.co.jp/news/2025/pr-20250429-003768.html>

大田さんは、CNCP 創設の2014年4月から2019年10月末までの5年余り、理事を務められました。CNCP 通信にも執筆され、下表の記事がホームページからダウンロード出来ます。

発行年月	Vol.	記事分類	タイトル
2020年5月	73	会員・サポーターからの投稿	故郷が教えてくれたことー共生(ともいき)の大切さー
2019年1月	57	コラム・トピックス	地方創生のキーワード“元気なジィジィ、バァバァ”
2018年5月	49	巻頭言	“元気の交換”ー東京の人たちがやって来た
2016年12月	32	コラム・トピックス	共感”復活への挑戦ー里山“野上がり”会ー
2016年3月	23	コラム・トピックス	円筒分水の妙ー双方ガマン、ガマンー
2015年8月	16	巻頭言	日本一の飯炊き名人
2014年11月	7	コラム・トピックス	柿の実三つとお蔭様



▼土木に関わる人と活動/土木と市民をつなぐ活動

土木を身近に楽しく感じて欲しい

～ 防災教育ボードゲーム

ドボ・シティ開発のお話 Vol.2 ～

ドボ・シティ制作チーム
大成建設株式会社

土木学会 2023 年度会長プロジェクト 土木の魅力向上特別委員会 元委員

葭田(よしだ) 学



■前回のつづき

こんにちは、前回(2025年4月号)の福田さんからバトンタッチしてドボ・シティ開発のお話 Vol.2 をお送りします。私は、「ドボ・シティ」のゲームデザインの担当をしまして、「ドボ・シティ」というゲームがどのように作られていったかを私の目線で簡単にご紹介したいと思います。

01 出会いは突然に

実は、建築出身で元現場マン



現場監督



今は、施工支援業務



面白そう!



毎週、社内 SNS に記事を
発信していたら...

土木学会のPJに
参加しませんか?



新入社員時代の
“0.3のコンボ”を
“近間さんのコン坊”
と間違っていた話の
投稿を見て、声を掛け
てくれました。

ここから、「ドボ・シティ」の物語は始まります。

02 期限は1年間

何する?となった時に、色んな方の意見
の中にゲーム制作がありましたので、
「やりたいです!」
と手を上げ参加しました。



ただ、プロジェクトは1年間!
カードゲームを期限内に完成させる事が
出来るのかな!? (色々悩みましたね...)



(建築だからこそ、土木って何だろ
うと?と、初心になって調べたり、
考える日々が続きました。)



その頃、自社では会社全体の風土を良く
していこうという垣根を越えたプロジェ
クトが始まり、参加していました。

土木、建築、事務などあらゆる方が参加し
ていて、色んな想いや考えを聴くことが出
来たのが、ゲーム制作のアイデアに繋が
って行きました。



土木・建築みんな同じような
悩みや問題があるのかも



03 ドボク×ケンチク = ?

そんな考えやモヤモヤを持ちつつ、毎年参加している神戸マラソンで走っていると...

「市民マラソンって、土木の道路などのインフラがあって、建築の街がないと成立しないのでは？」

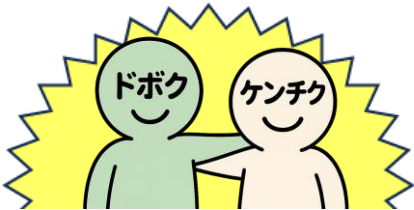
って事にふと気づきました。



建物を施工する際に、そもそも道路が無ければ...何も出来ない？



ダムや防波堤などが無ければ、災害が来たら大変な事になるのでは？



そこから、シティ(建築)を大きく・強くするためにはドボク(インフラ)の力が必ず必要となる。土木・建築は切っても切り離せない関係なんだと思ったところから、「ドボ・シティ」は生まれました。

04 ブラッシュアップ ドボ・シティ

ゲームの大まかな方針が決まった後は、土木に興味を持ってもらうために、進路を考え始める中学生に向けたデザインにすることにしました。なるべく分かりやすいルール(でも戦略性を少し足して)、イラストも親しみやすいテイストにしました。

(実際には、小学校低学年の子もルールを理解して遊んでいましたので、子供の好奇心と理解度はすごいです)



「ドボ・シティ」は、色々な方たちの協力があって完成したんだね!

また、作成したカードには「ドボクメモ」として、プロジェクトに協力してくれた方々の土木コメントを入れています。(その内容を見ているだけでも十分楽しめます!) また、分からない内容があれば調べたり、誰かに聞いたりすることで、土木への興味や会話が生まれることを期待しています。



「ドボ・シティ」をみんなに楽しんでもらうために、何度もルールの見直しやデザインの修正、アイデア出しをチームで行い、完成させる事が出来ました。

みんなで作ったドボ・シティで一緒に遊びましょう!



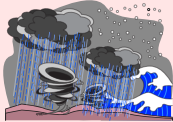
05 ドボ・シティの世界 (おまけ)



ストーリー



とある宇宙の片隅に
“コンスト星”という
名の星がありました。



その星は災害が多く、
“シティ(都市)”が発展
できずにいました。



コンスト星の王様は、
この災害に困っていました。



そうだ！
“ドボック(土木が大好きな人)”
を呼んで、シティを良くしよう！

MEMO

- ・災害に負けずに住みやすい街を作るにはどうすればいいだろう？と気が付きが得られるようなストーリーにしています。
- ・コンテストにしたのはコンペをイメージしていて、誰かを攻撃するのではなく、提案や行動で決めて行く。そんなゲームにしました。



▶ 王様は、ドボ・シティのコンテストを行うことにしました。あなたはドボックとして、誰よりも早く、良いシティを發展させて行きましょう！

キャラクター紹介(抜粋)



MEMO

心配性で優しいライオンの王さま。
みんなからは、王さまは心配性だから
助けてあげなきゃと、したわれているよ。



MEMO

働き方の改革を起こしたナマケモノ。
ナポレオンの様に革命を起こしそう
な雰囲気があるけど、働き過ぎには注意。



MEMO

ソレハサテオーキ。
人の話をさえぎって、無かったことに
したがるけど、何か憎めないクマさん。



MEMO

私が一緒に暮らしているネコの
“なっちゃん”
元々保護猫で気が強いけど、優しくて
可愛い女の子。色んな所で登場するよ！



MEMO

港のドボックカード(インフラ)で登場する、ラッコさん。
レベルが上がるにつれ、貝⇒海軍カレー⇒無線機と
変わって行くよ。
他のドボックカードもレベルが変わるとキャラクターが
少しずつ変わって行くよ！

<p>イベント 河川堤防</p> <p>カーセンターボ</p> <p>1回のみ、堤への災害を防ぐ</p> <p>このカードは、堤防が崩壊するまで使えます。</p>	<p>イベント 防波堤</p> <p>ポハーティ</p> <p>1回のみ、波への災害を防ぐ</p> <p>このカードは、堤防が崩壊するまで使えます。</p>	<p>イベント 法粋工</p> <p>ノリワーク</p> <p>1回のみ、道路への災害を防ぐ</p> <p>このカードは、堤防が崩壊するまで使えます。</p>	<p>イベント ダム</p> <p>ダム</p> <p>1回のみ、堤防への災害を防ぐ</p> <p>このカードは、堤防が崩壊するまで使えます。</p>
---	--	---	---

MEMO

災害から街を守ってくれる四天獣だよ。
 ・カーセンターボ(河川堤防)⇒ワニの背中のに注目。
 ・ポハーティ(防波堤)⇒龍の背びれが波を受け止めているよ。
 ・ノリワーク(法粋工)⇒見た目はワッフルだけど、土砂崩れを防ぐよ。
 ・ダム⇒その大きな見た目は、まるで動く要塞。
 これらのカードは、災害から街やインフラを守ってくれる
 ディフェンスカードになるよ。

▼つなぐ活動

土木コミュ+IP (インフラパートナー) 6

土木学会/土木広報センターの活動

土木と市民社会をつなぐフォーラム&土木学会インフラパートナーG 幹事長
シビルNPO 連携プラットフォーム 常務理事&事務局長
(メトロ設計 取締役)

田中 努



■土木広報戦略会議

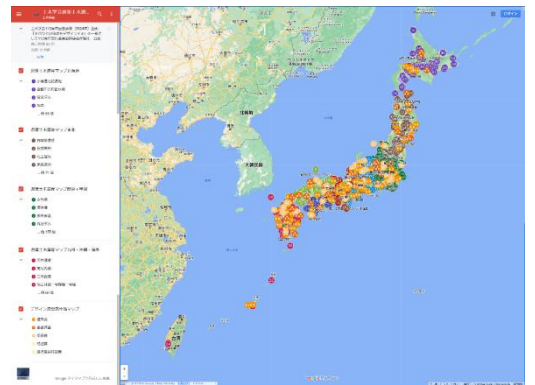
土木学会企画戦略グループのコミュニケーション部門が毎年1回「土木広報戦略会議」を開催します。会議の委員長は土木学会副会長で、産学官と多くの土木関係の協会等、計 33 団体の代表委員で構成されています。私もオブザーバーで参加させていただいています。

2025 年 1 月 31 日の会議では、①土木学会外の団体から、国土交通省・日本建設業連合会・土木技術者女性の会・日本トンネル専門工事業協会・JR東日本・鹿島建設・竹中土木の 7 団体の土木広報活動が紹介され、②土木広報センターの活動と、③土木学会支部から北海道・関東・中部・関西・中国・四国の 6 支部の活動紹介がありました。

いずれも、ホームページやFB等で、閲覧することが出来ますが、知らない方も多いと思うので、本号では、上記②の紹介をします。詳しくは、土木広報センターのサイトをご覧ください。

■土木学会選奨土木遺産・デザイン賞受賞作品マップ

- 土木学会創立 110 周年記念事業企画「土木との接点をデザインする」の一部として 110 周年記念事業実行委員会幹事会が製作、公開。
- Google MyMap 上に、選奨土木遺産 629 件とデザイン賞受賞作品 250 件に加え、国宝・重要文化財(建造物)の位置情報も追加し、ポイントデータとしては 1,235 件をマップ上に表示。
- 今後の維持管理、データの修正・更新等は、土木広報センター土木の日事業グループに新たに設置した「デジタルマップSWG」が行う。
- デジタルマップSWG メンバー
因 岳宏(「土木学会選奨土木遺産(公開)」MyMapのデータ一式を提供)
小澤 広直(「土木学会デザイン賞受賞作品」MyMapのデータ一式を提供)
小松 淳(110周年記念事業実行委員会幹事会 幹事/土木広報センター センター長)



<http://bit.ly/3UWbNSo>

■土木学会/土木広報センターの活動

土木広報センターでは、右のサイト(土木学会HP参照)から、様々な情報を発信しています。

土木学会公式 SNS アカウントの総フォロワー数は、およそ 57,300 人です。



●土木学会 Facebook

土木学会の公式 Facebook アカウント。運用開始は 2015 年5月1日。フォロワー数は 2025 年1月時点で 47,500 人以上。

土木学会および土木・建設業界全般の広報活動の一環として、幅広い土木の情報を一般市民向けに発信（毎日、土木情報を発信）。ユーザーは男女比で 8:2、25 歳以上の幅広い年代に親しまれている。



●土木学会 tv

土木学会の公式 YouTube チャンネル。配信開始は 2021 年3月 15 日。チャンネル登録者数は 3,300 人以上、動画本数は約 600 本（2025 年 1 月現在）。

ニュース映像、インタビュー映像、インフラ解説映像、専門家による災害情報のほか、土木学会の幅広い活動を映像として記録し、速報性のある情報発信を実施。



●ドボクのラジオ（通称：ドボラジ）

・ゲストに土木関係者や土木好きの方をお呼びし東京のインフラに関する話題や土木の魅力を語っていただく土木を身近に感じてもらうキッカケとなる情報を発信。

・2019 年 5 月 1 日令和元年からスタート（6 年目突入）。

・中央エフエム（東京都中央区のコミュニティラジオ、FM84.0MHz）において放送。毎週水曜 20 時、再放送は日曜 12 時の 30 分番組。

・放送は「JCBA（日本コミュニティ放送協会）」のサイトからエリアに関係なくどこでも聴くことができ、過去の放送は「YouTube（ドボクのラジオ）」にて聴ける。

・土木学会と建設技術研究所で運営。番組提供は、土木学会、建設技術研究所、関東学院大学、キャリア・ナビゲーション、清水建設、竹中土木、理工図書。

・デミーとマツの土木広報大賞の優秀賞受賞。土木広報大賞 2023 の特別賞受賞



●インフラ解説動画

・2018 年 12 月 20 日（木）より「土木学会 tv」にて公開スタート。

・いま知りたいインフラの話題を土木学会解説委員が分かりやすく説明。

・これまで、橋梁、河川、土砂災害、地震、下水道、コンクリートの 6 テーマを公開。それぞれ 2 分以内の短い内容で解説。今後も、交通計画などのテーマで追加制作予定。



●WEB 情報誌「from DOBOKU」(note)

・2021 年 4 月よりスタート。

・土木のことをカジュアルに噛み砕いたユニークな形で届ける。

・「note」の活用。

・土木学会誌の PR のために毎月、土木学会誌特



集の担当編集委員へのインタビュー動画を制作し、「土木学会 tv」に公開。

- ・10 個ほどのテーマ（マガジン）を定期的に更新中。

●土木コレクション 2024

・2008 年からスタートした展示会（歴史資料、手書き図面、写真、映像などをコレクション展示）。2020 年と 2021 年はコロナ禍で中止。
 ・新宿駅西口広場イベントコーナーで開催（例年、東京都建設局と共催で「橋と土木展」と同時開催）



- ・2024 年のテーマは、リニア中央新幹線・東海道新幹線/TEC-FORCE・能登半島地震での活動状況/首都高速道路・日本橋区間地下化事業/新宿駅（新宿グランドターミナル構想他）
- ・3 日間の来場者は延べ 47,196 人。土木に関するアンケート回答者は 1,675 人。

●オープンキャンパス土木学会 2024

・開催日：2024 年 7 月 20 日。開催場所：土木学会（東京都四谷）。
 ・主催：土木学会土木広報センター土木の魅力グループ/共催：建設用ロボット委員会、構造工学委員会、コンサルタント委員会、地盤工学委員会、土木情報学委員会、トンネル工学委員会。
 ・協力：法政大学、お茶の水女子大学、東海旅客鉄道(株)、(株)計測技術サービス、および土木広報センターの若手パワーアップグループ・土木の日事業グループ/後援：東京都新宿区教育委員会
 ・来場者：347 人。



●全国土木弁論大会「有馬優杯」・ことばの講座

・2022 年 9 月から、土木広報への新しいアプローチとして、全国土木弁論大会「有馬優杯」を開催。
 ・伝統的なスピーチ競技である「弁論」を通じて、土木の重要性や魅力を言語化し、自身の価値観とともに発表することを目的とした企画。「ことば」と「ところ」に向き合ってきた弁士たちが、土木弁論で腕を競う。
 ・開催日：2024 年 7 月 9 日/場所：土木学会本部 講堂/オンライン (Zoom) /弁論テーマ：「私にとっての土木」/参加者は、会場 24 名、オンライン (Zoom) 394 名の計 418 名。過去最多。



●「土木の日」のスポーツ紙広告

・1987 年制定。例年、全国各地で数多くのイベントを実施。
 ・2016 年からマンガ家の羽賀翔一氏のイラストを使用した広告を日刊スポーツに掲載。

▼フレンズコーナー

東急建設の
都立青山公園生き物観察会の取組

東急建設株式会社
土木事業本部 技術統括部
環境技術部 環境保全グループ
金内 敦



1. 東急建設の環境社会貢献活動について

当社は、地球環境の保全に全力を挙げることを1997年に制定した「環境憲章」で宣言しました。環境憲章の行動指針では「社会との協調」を掲げ、地域の環境保全活動などを通じて社会に対する責任を果たすとしています。

今回、環境社会貢献活動として13年継続開催している都立青山公園での生き物観察会を紹介します。

2. 都立青山公園の生き物観察会の取組について

当社では、2012年度より都立青山公園サービスセンター（以下、サービスセンター）からの共催依頼を受け、生き物観察会の企画・運営に継続的に携わっています。この観察会は、地域の子もたちに都心の緑や生き物を観察・体験する機会を提供し、自然の重要性や魅力を学んでもらうことを目的に実施しています。開催当初は、主に小学生を対象とし、公園内の掲示板などにより公募で募集した参加者を迎えて開催しました。

2018年度からはイベントの形態を変更し、港区立青南小学校（以下、青南小学校）の3年生を対象とした課外授業を実施しています。2020年度と2021年度には新型コロナウイルス感染症の流行により、屋外で活動する従来の形態での実施が困難になりました。そこで2020年度は青南小学校の教室での授業、2021年度はオンライン開催により取組を継続しました。2022年度からは従来の公園内で実施する形態で防災機能、水辺ビオトープなどのプログラムを提供しました。

3. 実施プログラムについて

主なプログラムの実施年度

イベントの企画・運営は、当社の実施した生物調査結果などを活用し、サービスセンター職員の方に対し、プログラムや運営方法を提案、打合せを重ねて実施しています。

活動後にはヒアリングやアンケート、スタッフの振り返りを行い、その結果を基に内容の改善を行いながら継続しています（右表参照）。

これまで「樹皮と葉の観察」、「生き物マップ」、「葉っぱアート」、「観察ポイント」、「コースター」、「生き物クイズ」、「ツルグレン装置」、「防災機能」、「水辺ビオトープ」など様々なプログラムを実施してきました。

代表的なプログラムとして、「樹皮と葉の観察」、「葉っぱアート」、「生き物クイズ」、「簡易ツルグレン装置」、「水辺ビオトープ」を紹介します。

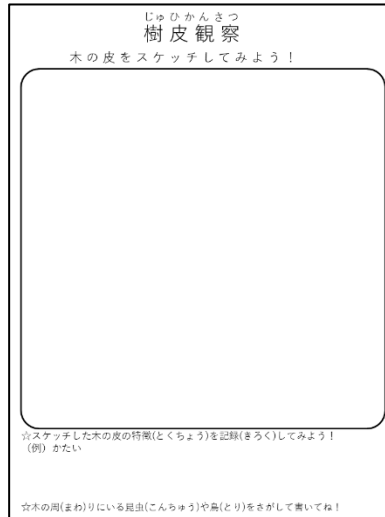
プログラム名	実施年度												
	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
樹皮と葉の観察	○												
生き物マップ		○	○	○									
葉っぱアート				○									
観察ポイント					○								
コースター					○								
生き物クイズ						○	○	○	○	○	○	○	○
ツルグレン装置								○	○	○	○		
防災機能											○		
水辺ビオトープ												○	○

1) 樹皮と葉の観察(2012 年度)

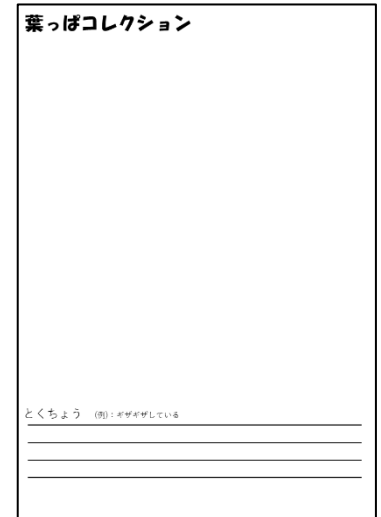
様々な形態を持つ樹皮と葉の特徴を視覚や触覚を通じて体験し、植物に対する興味を持ってもらうことを目的に「樹皮スケッチ」、「葉っぱコレクション」を実施しました。

「樹皮スケッチ」はスケッチ用紙を樹皮にあて、鉛筆でこすることで、樹皮の凹凸などをスケッチし、樹種毎の違いを比較してもらいました。

「葉っぱコレクション」は、参加者が園内の樹木の葉を用紙に貼り、葉の形状など特徴を観察しました。



樹皮観察用紙



葉っぱコレクション用紙

2) 葉っぱアート制作(2015 年度)

当日実施するプログラムは、参加者へのヒアリングやアンケート、スタッフの振り返りにより、毎年見直し改善しています。

植物の観察は昆虫の観察に比べ興味が低い傾向が見られ、楽しく植物に接してもらうために「葉っぱアート」を実施しました。

台紙となるボードに園内で採取した葉っぱをボンドで貼り付けて制作し、園内での展示を行いました。



葉っぱアートの様子

3) 生き物クイズ(2017~2024 年度)

楽しく生き物について学ぶことを目的に、生物調査結果も活用し、園内で生育、生息する「生き物クイズ」を実施しています。

また、チャドクガやハチ類などの危険な生物がどこに生息し、どんな点に注意すれば良いのかといった自然観察の留意点も出題しました。

青南小学校の課外授業では、文部科学省の学習要領も参考に、クイズを作りし出題しています。

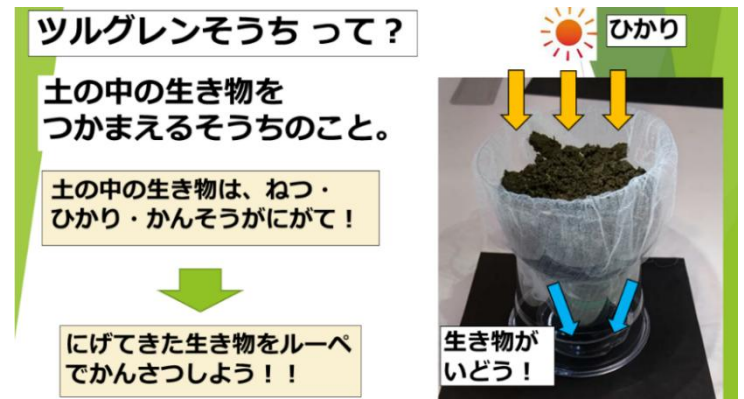


生き物クイズの様子

4) ツルグレン装置(2019~2022 年度)

日常生活の中で、観察の難しい土壌生物の観察と、土壌生物と土壌生成の関係性を説明し、自然や生物多様性に対する興味を持ってもらうことを目的に「簡易ツルグレン装置」を活用したプログラムを実施しました。

装置は廃材を有効活用する観点から、ペットボトルを利用し制作しました。



簡易ツルグレン装置

5) 水辺ピオトープ(2023~2024 年度)

園内の生物調査、周辺環境調査から明るい池や水田を好むシオカラトンボなどを目標種に水辺ピオトープを計画、作製しました。

これまで「生物調査データを活用し低コストで遊び通じて楽しく学ぶ」をコンセプトに実施しており、今回もホームセンターなどで購入できる低コストの材料で作製しました。

作製後、毎日の管理を公園協会職員の方に行って頂き、観察会当日トンボ類の幼虫を確認できました。



水辺ピオトープの様子

4. 参加者アンケートと今後の活動

公募で実施した 2012 年~2017 年度の保護者を含む参加者数は、2012 年度（第1回目）に子ども、保護者を合わせて 10 名でした。複数回参加のリピーターを含む概ね 20 名が参加するイベントになり、特に 2016 年度は 50 名が参加して頂きました。

2018 年度~2023 年度の青南小学校は、3 クラス約 100 名を対象に行っています。2023 年度に実施したアンケートでは「とても楽しかった」が約 7 割、「公園が好きになった」が約 7 割、「虫が好きになった」が約 5 割であり、公園の魅力や身近な自然の重要性を発信できました。2024 年度には小学校に加え、児童館からの開催依頼も受けました。

この取組は、「子どもたちの反応を見ながら、内容をブラッシュアップし、10 年以上にわたり活動しており、継続性は貴重」と評価頂き東京都公園協会賞奨励賞(ボランティア・社会貢献活動部門)を受賞致しました。今後も CSR 活動として、プログラムを改善しながら、取り組んでいきます。



東京都公園協会賞

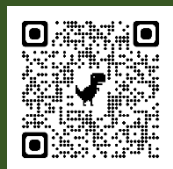
CNCP は、
あなたが参加し、
楽しく議論し、
活動する場です。

お問い合わせは下記まで

特定非営利活動法人
シビルNPO
連携プラット
フォーム

●登録事務所
〒110-0004
東京都台東区下谷
1丁目11番15号
ソレイユ入谷

事務局長 田中 努：
cncp.office@gmail.com
ホームページ URL：
<https://npo-cnnp.org/>



▼事務局通信

■4月の実績

●第132回経営会議

開催日・場所：4月11日（金）アイセイ(株)会議室
議題：学生を交えてのワークショップ「学生・企業人・アカデミアが重なり合ってグラデーションができる！」

■5月の予定

●第133回経営会議

開催日・場所：5月14日（水）アイセイ(株)会議室
議題：サロンの開催方針と今年度の具体化／各事業の活動状況の確認

■現在の会員と仲間の数

●会員：賛助会員 30／法人正会員 9／個人正会員 23／合計 62
●仲間：サポーター99／フレンズ 135／土木と市民社会をつなぐフォーラム 15／インフラパートナー18／合計 267

●CNCP の活動には下記の賛助会員の皆さまのご支援をいただいています（50音順・株式会社等省略）。

アイ・エス・エス／アイセイ／安藤・間／エイト日本技術開発／エヌシーイー／奥村組／オリエンタルコンサルタンツ／ガイアート／熊谷組／建設技術研究所／五洋建設／佐藤工業／シンワ技研コンサルタント／スバル興業／セリオス／第一復建／竹中土木／鉄建建設／東亜建設工業／東急建設／ドーコン／飛島建設／土木学会／西松建設／日本工営／パシフィックコンサルタンツ／フジタ／復建エンジニアリング／復建調査設計／前田建設工業（以上 30 社）



土木と市民社会を
つなぐフォーラム



インフラパートナー
JSCC 土木学会